

「踏み間違い防止装置(ペダル踏み間違い時加速抑制装置)」の評価実施に向けて

1. 経緯

踏み間違い防止装置（ペダル踏み間違い時加速抑制装置）については、これまでロードマップ上、導入目標時期は掲げず、「他の予防安全装置」の一つとして、予防安全性能評価の候補とされていた。

また、当該装置については、平成28年6月にとりまとめられた「交通事故のない社会を目指した今後の車両の安全対策のあり方について」¹において、自動車アセスメント等を通じた普及促進策を検討することが対策の方向性として示されている。さらに、昨年相次いで発生した高齢運転者による交通事故を踏まえ、平成28年11月には閣僚会議等が開催され、それらの関連会議において、今後の検討課題として予防安全技術の普及に係る検討が必要とされているところ。

以上を踏まえ、当該装置の評価実施に向けて今後の進め方を検討する必要がある。

2. 評価の実施に当たって検討すべき事項

(1) 現状把握

- ① 事故実態
- ② 各メーカーの装置の状況
- ③ 過去の関連調査情報の整理

(2) 課題の整理

- ① 事故実態に基づく評価対象事故の整理
- ② 装置の対応範囲の確認（現状及び将来）

3. スケジュール

社会的要請を踏まえて平成30年度（2018年度）から評価を開始できるよう調整（スケジュール案）

平成28年度 ロードマップへの掲載、現状把握及び課題の整理を開始

平成29年度 試験・評価方法作成開始

平成30年度 評価開始

¹ 平成28年6月24日 交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会報告書